

論文要旨

派手婚の発生と意味に関する一考察

石井 研士（國學院大學副学長）

本研究は、新聞・雑誌記事の分析を通じて、「派手婚」の歴史的経緯を跡付けるものである。従来の慣行に囚われない結婚式に対する希求は既に昭和 30 年代末の時点で確認され、こうした潮流に導かれた結果、昭和 50 年代以降、「派手婚」は人々の大きな関心を集めることとなった。高度経済成長によって所得・消費水準が向上する一方、人々の生活様式が平準化していった当時の時代状況に照らせば、「派手婚」とは、結婚式を選ぶことのできるようになった人々の、個性の表現形式と考えることが出来る。